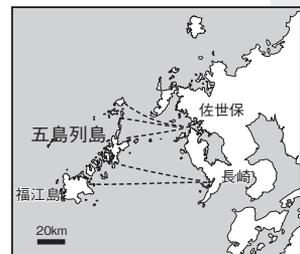


## ●定住促進●

積極的な販路拡大で  
五島ブランドの確立を

長崎県五島市長公室 山下大輔



## ◆日本有数の椿の島

五島市は九州の最西端に位置し、大小一五二の島々からなる五島列島の南西部にあり、一一の有人島と五二の無人島で構成されている。平成一六年に一市五町が合併し、本年八月一日に合併一〇周年を迎えた。島の地形は極めて複雑で、屈曲に富んでおり、海と山が織りなす美しい自然景観により西海国立公園に指定されている。また、ヤブツバキが多く自生する日本有数の椿の島であり、地域資源である椿を最大限に活用し、「日本一の椿のしまづくり」を目指している。

本市の人口は、平成二二年の国勢調査では四万六二二人と、昭和三〇年の九万一九七三人をピークに半分以下に減少している。また、高齢化率は三三・四パーセントと高く、過疎化も進んでおり、基幹産業の低迷、雇用の場の不足な

どから若年層を中心とした人口流出に歯止めがかからない状況が続いている。

第一次産業においては、就業者の高齢化や後継者不足、燃油や飼料の価格の高騰、割高な輸送コストなどに加え、水産業では水産資源の減少、魚価の下落、農林業では耕作放棄地の増加など、島で働く人々を取り巻く環境は年々厳しくなっている。

## ◆特産品の販路拡大を目指す

## 「五島ブランド確立推進事業」

このような中、離島振興法の改正を受けて創設された離島活性化交付金を活用し、五島市の特産品の全国PRおよび販路拡大を推進するため「五島ブランド確立推進事業」



特産品を販売する物産展の様子。

を実施した。

事業の主な内容は、一般社団法人五島市物産振興協会以下、物産振興協会の活動の支援である。物産振興協会は、五島市内における産品を県内外へ広く紹介し、戦略的かつ効果的な物産の振興を図ることを目的に平成二四年六月に設立された。それまでは、市・経済団体などで構成する任意団体が物産展などを企画主催し、百貨店などを中心に活動してきた。しかし、今後の物産振興を見据え、さまざまな業種を巻き込んだ組織のほうが物産展以外にも通信販売やギフト販売などの活動を積極的に行うことができるメリットもあり、民間主導による団体を設立するに至った。

五島市においては、農水産物の加工、販売を手掛ける地元企業は、零細企業が多いため、島外へ積極的にPRおよび販路拡大をすることをためらう事業者も多い。そのため、本事業で物産振興協会の活動を支援することにより、地元産品を五島ブランドとして幅広くPRすることができるとともに、これまで販売できなかった地域への販路拡大も期待できる。また、雇用の場の創出など、地場産業の活性化にも大きく寄与するものである。

「五島ブランド確立推進事業」の実施により、物産振興協会加盟の市内業者は設立当初の二五業者から平成二六年八月には四〇業者が増え、それまで物産展に参加したことがなかった業者が物産展に参加するなど、産品取扱業者全体

としても盛り上がるの気運を見せている。また、協会会員同士で意見交換会を開催し、横のつながりを深め、連携して新商品を創出するなど、新たなビジネスチャンスも生まれている。さらに、物産展で出品した商品が百貨店のギフトカタログで取り扱われるなど、特産品の知名度の向上や販路拡大につながっている。その中でも、五島牛や五島豚につづく地域ブランドとして作出した「五島地鶏しまさぎなみ」は、物産展や商談会を通して、取り引き件数が前年度の一件から二〇件へと増加するなど、今後の販売促進に期待の持てる成果が表れている。

今年度から、東京と福岡に物産振興や観光客誘致の拠点となる事務所を開設し、活動費の一部として離島活性化交付金を活用している。物産振興協会と五島市東京事務所および五島市福岡事務所との連携を図り、大都市圏において本市自慢の特産品の販路拡大や島の魅力的な発信をしていくことにより、今後さらなる物産・観光振興へとつなげていきたい。

#### ◆活性化交付金事業で地域資源の活用を

以上のように、離島活性化交付金を活用した事業により、地場産業をはじめ、地域経済の活性化が着実に図られている。交付金の創設は、財源に乏しく地理的不利条件を抱える離島自治体にとっては、非常に大きな助けとなっている。

現在、五島市においては、人口減少や少子高齢化、雇用の場の減少、割高な輸送コストなど解決すべき課題は多いが、前述した「椿」をはじめ、世界遺産登録を目指す「教会群」、「マグロ養殖」や「海洋再生可能エネルギー」など、地域資源を活用した取り組みを進めている。今後は、引き続き離島活性化交付金の拡大と対象事業の拡充を求めていくとともに、島の特性に応じて創意工夫を活かした活性化施策を講じ、いかに定住や交流の促進につなげていくかが、私たち行政の重要な役目となる。さらに活力ある五島を指して、この島の持つ多様性を活かしながら、他地域をリードする取り組みを実施していきたい。

